

はじめに

令和4年中の札幌市内における交通事故発生件数は4,428件、負傷者数は5,019人と、いずれも前年を上回っています。

また、死者数も28人と、昭和37年以降の統計で過去最少となった前年に比べて12人の増加となりました。このうち約6割にあたる16人が65歳以上で、さらに事故の発生状態別に見ても歩行中の事故による死者12人のうち9人が65歳以上と、高齢者が多く犠牲になっており、憂慮すべき状況にあります。

交通事故の多くは、ドライバーの前方不注意や左右不確認、信号無視な

ど、安全確認を怠ったことや基本的な交通ルールの不徹底が原因となっていますが、自転車利用者の安全不確認や歩行者の横断違反などが原因の場合もあります。交通事故を減らすためには、私たち一人ひとりが交通事故を自らの問題として受け止め、交通ルールを守り、マナーを高めることが大切です。

本書は、令和4年中に札幌市内で発生した交通事故の特徴を分析し、事故防止に向けたポイントを加えてまとめたものです。家庭や地域、職場などにおける交通安全活動に本書をご活用いただき、交通ルールの確認とマナー向上に役立てていただくことを願っています。



もくじ

札幌市 令和5年度の交通安全運動の取組

■ 札幌市交通安全運動推進方針(概要)	1
---------------------	---

札幌市 令和4年中の交通事故発生状況

■ 市・道・全国の交通事故発生状況	2
■ 死者・負傷者数の年次推移と道・全国比較	3
■ 死者数の大都市比較	4
■ 区別の交通事故	5
■ 類型別発生状況	6
■ 月別・時間別交通事故	7
■ 年代別・状態別交通事故	8
■ 高齢者の交通事故の推移	9
■ 高齢者の事故事例	10
■ 第一当事者の年代別・違反別発生状況	11
■ 歩行中事故	12
■ 自転車事故	13

用語の定義

■ 子ども	15歳以下
■ 若者	16~24歳
■ 高齢者	65歳以上

■ 第一当事者

事故における過失の重いものをいい、過失が同程度の場合には負傷程度が軽いものをいう。

※構成比(%)については端数を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。